

製品名:	熱伝導性ペースト (HEAT CONDUCTIVE PASTE)	ページ数:	1/8
最終改訂日:	2017-11-13	印刷日付:	2017-11-13
文書番号:	M0062	安全データシート整理番号:	JP-JA/18.0

1 化学品及び会社情報

化学品の名称

製品名: 熱伝導性ペースト (HEAT CONDUCTIVE PASTE)
カタログ番号 40300001

容器サイズ: 20 g

推奨用途及び使用上の制限

用途: 導電性ペースト

安全データシートの供給者の詳細

供給者: ストルアス社 (Struers ApS)
Pederstrupvej 84
DK-2750 Ballerup
Tel: +45 44 600 800

国内供給者: 丸本ストルアス株式会社
〒110-0015 東京都台東区東上野1-18-6
ソリューションセンター
Tel: 03-5688-2917
Fax: 03-5688-2927

安全性データシートのオーサリングを担当。 安全性データシートのオーサリングを担当。 DHI
この安全性データシートの内容に対する質問の宛先はこちら :
struers@struers.dk

緊急連絡電話番号

公益財団法人 日本中毒情報センター (JPIC): 大阪中毒110番 (365日 24時間対応) 072-727-2499, つくば中毒110番 (365日 9時 ~ 21時対応) 029-852-9999.

03-5688-2930 (丸本ストルアス営業部)
(営業時間のみ)

安全データシート

製品名:	熱伝導性ペースト (HEAT CONDUCTIVE PASTE)	ページ数:	2/8
最終改訂日:	2017-11-13	印刷日付:	2017-11-13
文書番号:	M0062	安全データシート整理番号:	JP-JA/18.0

2 危険有害性の要約

化学物質 / 混合物の分類

JIS Z 7253:2012に基づき分類:
水生環境有害性 (急性) 区分1
水生環境有害性 (長期間) 区分1

ラベル要素



警告

内容物:	亜鉛オキシド
H410	長期的影響により水生生物に非常に強い毒性。
P273	環境への放出を避けること。
P391	漏出物を回収すること。
P501	内容物/容器は市町村の規制に従って廃棄すること。

他の危険有害性

PBT/vPvB: 使用可能な情報はない。 (*)

3 組成及び成分情報

混合物

本製品は下記を含む: ケイ素 及び 金属酸化物.

JIS Z 7253:2012に基づき分類:

%:	CAS番号	EC 番号:	"官報公示整理 番号" / "化審 法番号":	化学名:	危険有害性 ID	注:
50-100	1314-13-2	215-222-5	1-561	亜鉛オキシド	水生環境有害性 (急性) 区分1 水生環境有害性 (長期間) 区分1	

安全データシート

製品名:	熱伝導性ペースト (HEAT CONDUCTIVE PASTE)	ページ数:	3/8
最終改訂日:	2017-11-13	印刷日付:	2017-11-13
文書番号:	M0062	安全データシート整理番号:	JP-JA/18.0

4 応急措置

応急措置の説明

吸入: 新鮮な空気の場所に移し、安静を保つ。

皮膚への接着: 汚染された衣服を脱がせ、水で皮膚を十分にすすぐ。

眼に入った場合: すぐに大量の水で15分以上、洗い流すこと。コンタクトレンズを外し、まぶたを大きく開く。刺激が継続する場合、医療処置を受け、これらの指示書を持参する。

経口摂取: 直ちに口をすすぎ、大量の水を飲む。被災者を観察下に置く。気分がすぐれない場合: これらの指示を持参して、病院に搬送する。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

症状 / 影響: 健康に関する影響と症状の詳細については項目11を参照してください。

医師に対する特別な注意事項

医学的措置 / 治療: 症状を治療する。 (*)

5 火災時の措置

消火剤

消火剤: 周辺物質に適切な火災消火剤を使用する。

使ってはならない消火剤: 対策は特にならない。

特有の危険有害性

特殊な危険有害性: 火災時には、毒性ガスが生成されることがある。 (*)

特有の消火方法及び消火を行う者の保護

消火を行う者の保護具: 消化時の呼吸保護の選択: 職場で指定された一般的火災対策に従う。

6 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

個人的対策: 皮膚及び目への接触を避ける。

環境に対する注意事項

環境対策: 排水溝、水路または地面に放出してはならない。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

浄化方法: 砂、おが屑または他の不燃材で漏洩をせき止め、吸収する。

その他の節の参照

参考資料: 保護措置に関しては項目 8 を参照。廃棄物処理に関しては項目 13 を参照。

安全データシート

製品名: 熱伝導性ペースト (HEAT CONDUCTIVE PASTE) ページ数: 4/8
最終改訂日: 2017-11-13 印刷日付: 2017-11-13
文書番号: M0062 安全データシート整理番号: JP-JA/18.0

7 取扱い及び保管上の注意

安全取扱い注意事項

安全な取扱いに関する勧告: 皮膚及び目への接触を避ける。粉塵吸入を避ける。煙を吸い込まないようにしてください。化学物質の適切な取扱いと衛生習慣を守る。

技術的措置: 作業時は、接触を最小限に抑えなければならない。

技術対策: 局所排気を推奨する。

混触禁止物質を含む安全な保管条件

安全な貯蔵に関する技術的措置: 特別な注意事項なし

貯蔵状態: 厳重に密閉した元の容器で貯蔵する。

具体的な最終用途

具体的な用途: 使用可能な情報はなし。 (*)

8 ばく露防止及び保護措置

管理上のパラメータ

職業暴露限界:

CAS番号	化学名:	下 記の状 態とし て:	暴露限界:	タイプ:	注:	リファレン ス:
1314-13-2	酸化亜鉛 (吸入性粉塵)	-	1 mg/m3	-	-	JSOH
1314-13-2	酸化亜鉛 (総粉塵)	-	4 mg/m3	-	-	JSOH
1314-13-2	酸化亜鉛ヒューム	-			検討中	JSOH

曝露防止

設備対策を: 適切な換気を供給する。職業暴露限界を守り、吸入リスクを最小化する。

人体の保護: 個人用保護具は、各国の関連規格に準拠し、個人用保護具供給者と相談して選定しなくてはならない。

呼吸用保護具: 換気が不適切であり作業が短時間の場合は、適切な呼吸装置を使用する。呼吸装置は、タイプ A2/P2 の組み合わせフィルターと共に使用する。

手の保護具: 接触のリスク: 保護手袋を着用する。ニトリル手袋またはゴム手袋が推奨される。

眼の保護具: 飛散リスク: ゴーグル/顔面シールドを着用する。

皮膚及び身体への保護具: 特別な予防措置はなし。

環境暴露管理: 該当なし。

安全データシート

製品名:	熱伝導性ペースト (HEAT CONDUCTIVE PASTE)	ページ数:	5/8
最終改訂日:	2017-11-13	印刷日付:	2017-11-13
文書番号:	M0062	安全データシート整理番号:	JP-JA/18.0

9 物理的及び化学的性質

基本的な物理化学的特性に関する情報

外観: ホワイト ペースト

臭い: 無臭

pH: 該当なし。

沸点: 該当なし。

引火点: >101 °C

爆発性: 該当なし。

比重: 2.0

溶解性: 非水溶性

分解温度 (°C): 該当なし。

その他の情報

他のデータ: 揮発性有機化合物 (VOC) : 0 g/l

10 安定性及び反応性

反応性

反応性: 通常の条件下ではなし。 (*)

化学的安定性

安定性: 通常の温度条件の下で安定。

危険有害反応可能性

危険有害な反応: 通常の条件下ではなし。 (*)

避けるべき条件

避けるべき状態/物質: 特記なし。

混触危険物質

不適合物質: エージェントを酸化する。

危険有害な分解生成物

危険有害な分解生成物: ホルムアルデヒド (*)

安全データシート

製品名:	熱伝導性ペースト (HEAT CONDUCTIVE PASTE)	ページ数:	6/8
最終改訂日:	2017-11-13	印刷日付:	2017-11-13
文書番号:	M0062	安全データシート整理 番号:	JP-JA/18.0

11 有害性情報

毒物学的影響に関する情報

<u>急性毒性 (経口):</u>	入手可能なデータに基づき、分類基準に合致していない。
<u>急性毒性 (経皮):</u>	入手可能なデータに基づき、分類基準に合致していない。
<u>急性毒性 (吸入):</u>	入手可能なデータに基づき、分類基準に合致していない。
<u>皮膚腐食性/刺激性:</u>	入手可能なデータに基づき、分類基準に合致していない。
<u>眼に対する重篤な損傷性 又は眼刺激性</u>	入手可能なデータに基づき、分類基準に合致していない。
<u>呼吸器または皮膚感作性:</u>	入手可能なデータに基づき、分類基準に合致していない。
<u>生殖細胞変異原性:</u>	入手可能なデータに基づき、分類基準に合致していない。
<u>発がん性:</u>	入手可能なデータに基づき、分類基準に合致していない。
<u>生殖毒性:</u>	入手可能なデータに基づき、分類基準に合致していない。
<u>特定標的臓器毒性 (単回曝露):</u>	入手可能なデータに基づき、分類基準に合致していない。
<u>特定標的臓器毒性 (反復曝露):</u>	入手可能なデータに基づき、分類基準に合致していない。
<u>吸引力呼吸器有害性:</u>	入手可能なデータに基づき、分類基準に合致していない。
<u>吸入した場合</u>	通常の室温では影響なし。
<u>皮膚への接触:</u>	長期接触は、発赤及び刺激を起こすことがある。
<u>眼に入った場合:</u>	刺激することがある。
<u>経口摂取:</u>	誤摂取の可能性がある分量には、予測される有害性作用がない。
<u>特有の影響:</u>	職業暴露による長期的影響のリスクは、微小と見なされる。

12 環境影響情報

生態毒性

生態毒性: 長期的影響により水生生物に非常に強い毒性。

残留性・分解性

分解性: この製品の分解可能性に関するデータは存在しない。

生体蓄積性

生物濃縮性: 生物濃縮性に関する使用可能なデータはない。

土壤中の移動性

移動性: 使用可能なデータはない。

PBTおよびvPvB評価の結果

PBT/vPvB: 使用可能な情報はない。 (*)

その他の有害影響

その他の有害影響: 使用可能な情報はない。 (*)

安全データシート

製品名:	熱伝導性ペースト (HEAT CONDUCTIVE PASTE)	ページ数:	7/8
最終改訂日:	2017-11-13	印刷日付:	2017-11-13
文書番号:	M0062	安全データシート整理番号:	JP-JA/18.0

13 廃棄上の注意

廃棄方法

残余廃棄物: 廃棄物及び残留物は、現地当局の要件に従い廃棄する。廃棄物は危険有害性廃棄物に分類されている。

汚染容器及び包装: 廃棄物及び残留物は、現地当局の要件に従い廃棄する。

14 輸送上の注意

製品は、危険物の輸送に関する国際規制 (IMDG、ICAO/IATA) の対象となります。

国内規制

海上規制情報: 船舶安全法の規定に従う。

航空規制情報: 航空法の規定に従う。

陸上規制情報: 消防法の規定に従う。

国連番号

UN 番号: 3077

国連輸送名

品名: ENVIRONMENTALLY HAZARDOUS SUBSTANCE, SOLID, N.O.S. (zinc oxide)

IMDG追加情報:

EmS: F-A, S-F

MFAG: 1

輸送における危険有害性クラス

国連分類: 9

容器等級

PG: III

環境危険有害性

海洋汚染物質: はい。

環境有害物質、固体: はい。

知る必要がある又は従う必要がある特別の安全対策

特別な注意事項: 輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。危険物又は危険物を収納した容器が著しく摩擦又は動揺を起こさないように運搬すること。
食品や飼料と一緒に輸送してはならない。重量物を上積みしない。危険物の運搬中、危険物が著しく漏れる等災害が発生するおそれがある場合には、災害を防止するための応急措置を講ずると共に、もよりの消防機関その他の関係機関に通報すること。移送時にイエローカードの保持が必要。
緊急時応急措置指針番号: 171

マルポール条約73/78の附属書IIおよびIBCコードによるばら積輸送

バルク輸送: 該当しない。

安全データシート

製品名:	熱伝導性ペースト (HEAT CONDUCTIVE PASTE)	ページ数:	8/8
最終改訂日:	2017-11-13	印刷日付:	2017-11-13
文書番号:	M0062	安全データシート整理 番号:	JP-JA/18.0

15 適用法令

物質 / 混合物に特有の安全、健康、環境法規

国内法:

- 労働安全衛生法
- 化審法
- 大気汚染防止法。
- JIS Z 7252:2014. GHS に基づく化学物質等の分類方法.
- JIS Z 7253:2012. GHS に基づく化学品の危険有害性情報の 伝達方法 - ラベル, 作業場内の表示及び 安全データシート (SDS)
- 許容濃度等の勧告 (2016 年度)

16 その他の情報

使用者は、正しい作業手順について指示され、これらの指示書の内容に精通していなければならない。

以下の項目は、改定または新たな記述を含む。 : 2, 4, 5, 7, 10, 12.

(*)は、前バージョンからの変更を示す。

DHIによって認可。



その他の情報:

GHSによる分類:
計算方法。

本データシートの情報は当社の最新のデータであり、本製品が規定された条件下で、かつ、パッケージおよび/または技術手引文書に指定された適用方法に従って使用されれば、信頼できるデータである。本製品を他の製品や他のプロセスと組み合わせて使用するなど、規定外の使用をした場合はその使用者が責任を負うものとする。

DHI-環境毒物学部によって制作された文書、DHI現住所: Agern Allé 5、DK-2970 Hørsholm、デンマーク。
HP : www.dhigroup.com.